

2019年度社会福祉法人ゆめグループ福祉会 事業計画

1. 社会福祉法人ゆめグループ福祉会の基本理念

社会福祉法人ゆめグループ福祉会は以下の理念のもとに事業を実施します。

- 1) 障がいのある人々の権利を守り、その選択と自己決定を尊重します。
- 2) 障がいのある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつけられる支援を行います。障がいを問わず、ともに交流し、ともに働き、ともにくらす場をつくります。
- 3) 障がいのある人たち・その家族・地域住民のねがいにもとづき、地域に根ざした、開かれた施設をつくり、地域の福祉の向上をめざします。

2. 本年度の重点施策

以上の理念に基づき、利用者中心の事業を一層充実させていく。さらに加えて今年度は以下ののような具体的な課題に重点的に取り組みます。

- 1) 新しい障害者福祉サービス事業を再編、計画、新設する。
 - 1 : 就労継続支援B型の事業の再編・拡充を図る。

ドリーム第2の登録人数が30名を超えて、利用者の活動場所が狭く収容能力を超えており、また分室リサイクル工房サラエの利用者が減少し、授産種目の見直し、再編が必要となっている。そのため2019年度中に、分室の再編事業として店舗型就労継続支援B型の事業所を計画し、新設する。
 - 2 : 多機能型事業所の改修・新設を伴う建設を計画する。

平成30年度に、グループホームを併設した、生活介護、就労継続支援B型含む多機能型の事業所の移築再編を伴う事業所の改修・新設を計画し、平成31年度に再編新設を目指す。
 - 3 : 多様な形態のグループホームの新設を計画する。
 - ① 重度の身体障害のある人たちを含む身体障害の人を中心としたグループホームの新設を計画する。
 - ② 女子入居専用のグループホームの新設を計画する。

- 2) 利用者主体の障害者福祉サービス事業の充実化をはかる。
- 利用者の満足度をはかる。
 - 苦情処理体制を充実させる。
 - 利用者支援の取り組みの充実を図る。
(サービス等支援計画、契約、個別支援計画、支援方法、支援記録)
 - 虐待防止に関する研修の充実を図る。
- 3) グループホームの運営の安定化、充実化のための組織的な取り組みをする。
- グループホーム運営・支援のアドバイス・相談ができるグループホームスタッフ会議の充実
 - グループホーム職員研修機会の拡大
 - グループホーム職員の定着支援
- 4) 職員参加による研修体制の充実
- キャリアパス支援の制度の充実を図る。
 - 定例研修会の実施
 - 外部研修機会の拡大
 - 自己学習機会の支援
- 5) 職員の待遇改善、働き続けられる職場作りをはかる。
- 多様な世代の職員がキャリアを積みながら長く働き続けられるように給与体系や手当を見直し改善を図りたい。
- 6) 地域連携の取り組みをつよめる。
- 地域交流としての「ゆめ祭り」を継続して開催する。
 - 地域に開かれた施設として移動販売を積極的に行う。
 - 他団体主催の販売については売り上げや宣伝効果などを精査し位置づけを明確にしたうえで参加する。
- 7) 災害対策を強化する。
- 災害用資材や食料の備蓄を進める。防災計画も策定していく。
 - 避難訓練を実施する。帰宅困難者対策条例も視野に入れる。
 - 既存建築物の耐震補強の実施をはかる。

8) 長期展望にもとづく長期計画の策定

法人整備長期計画の検討・策定、北砂1丁目ビルの再開発長期計画の策定への取り組みとして、長期計画検討のための構想づくりの委員会を設置し、検討する。

3. 事業運営

1) 社会福祉法人ゆめグループ福祉会は、以下の事業を実施する。

各事業の事業計画、予算案は別紙に示す。

| 事業 | 事業所名 | 定員 | 在籍 |
|----------------|--------------------------|------------|----|
| 就労継続支援B型 | ゆめ工房 | 30 | 32 |
| | ゆめ工房北砂 | 25 | 25 |
| | ふれあい工房 | 20 | 23 |
| | ドリームクラブハウス | 20 | 21 |
| | ドリーム第2 及び分室リサイクル工房サラエ | 35 | 41 |
| 多機能型 | 生活介護 | ネットワークゆめ工房 | 10 |
| | 就労継続支援B型 | | 10 |
| 共同生活援助 | ひだまり第3 | 5 | 5 |
| | ひだまり第4 | 5 | 5 |
| | いぶき寮 | 5 | 5 |
| | 丸山ハイツ | 5 | 5 |
| | 東砂ハウス | 7 | 7 |
| 居宅介護 同行援護 | 重度訪問介護 移動支援 | 地域交流支援センター | |
| 特定相談支援 | | ゆめ相談支援事業所 | |
| 公益事業 生活寮の運営 | 生活寮ひだまり | 4 | 4 |
| | 生活寮ひだまり第2 | 5 | 5 |

2) 年間の共通の行事を以下のとおり実施する。

2019年

4月 入所式 ゆめグループ全体会

5月 メーデー参加

6月 旅行宿泊訓練：静岡県宇久須温泉

7月 地域の夏祭り(江東・墨東特別支援学校) 参加

8月 旅行宿泊訓練：七時雨ゆめのつどい：岩手県
8月 プール（江東・墨東特別支援学校）利用
9月 きょうされん全国大会
10月 ゆめまつり
10月 江東区民まつり参加
12月 江東区障害者福祉大会参加
ゆめグループ望年会
2020年
1月 成人・還暦祝い、餅つき
江東区障害者作品展参加
3月 ゆめグループ全体会議
＊消防・防災訓練年2回実施

4. 理事会・評議員会の開催

1) 理事会

第1回理事会 2019年 5月 平成30年度事業報告、決算
新役員の推薦
第2回理事会 2019年 9月 長期計画について
第3回理事会 2019年12月 補正予算、事業計画について
第4回理事会 2020年 3月 2020年度事業計画、予算

2) 評議員会

第1回評議員会 2019年5月 平成30年度事業報告、決算
新役員の選任
第2回評議員会 2019年12月補正予算、事業計画について
第3回評議員会 2020年3月 2020年度事業計画、予算

2019年度事業計画

ゆめ工房

| | |
|-------|--|
| 事業所名 | ゆめ工房 |
| 運営法人 | 社会福祉法人 ゆめグループ福祉会 |
| 事業の種類 | 就労継続支援B型 |
| 所在地 | 東京都江東区北砂1-14-4 1階 |
| 管理者 | 岡田 芳久 |
| 事業の目的 | <p>障害のある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力をつけられるように、適切な支援をおこなう。</p> <p>他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。</p> <p>文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるように支援する。</p> <p>集団を基礎とした人間関係を中心に置き、作業を通じて社会で生きていく力の獲得を目指す。</p> |
| 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ● 「はなすこと」を活動の基礎に置く、適切な声・主語をはっきり・聞くと、話すのキャッチボールが成り立つようとする ● 受け身ではないやりたい気持ちを育てる支援 ● やれることはやろうという気持ちを作る支援 <p>作業(労働)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ダイレクトメール発送作業（タックシール貼り、封入など） ② パソコン（名刺作成など）の人材育成、パソコン教室（講師募集中） ③ 下請け作業（部品はめ込み、コピー用紙袋詰め、学校教材組み立て） ④ 準備から後片付けまで作業をひとりでこなせる人を育成する ⑤ 口腔衛生商品販売の拡大（児童分野） ⑥ 自主製品の作成（コーヒーがら消臭剤）新規製品試作（利用者だけで製造できるもの） ⑦ むしばんの移動販売再開定期化、新製品開発（季節特別メニュー）北砂二丁目公園脇道路販売テスト <p>日課</p> <ul style="list-style-type: none"> ① バランスのとれた昼食への切り替え ② 障がいに応じた一口食など形態の工夫 ③ 歩く活動を意識的に取り入れる ④ 昼休み後のストレッチ、ラジオ体操をしっかりやる <p>文化的活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 創作活動(月1回) 美術作品の制作、ギャラリー展示会 ② 作品展への出展(きょうされん作品展・江東区作品展) ③ 東京都障害者スポーツ大会への参加支援 ④ 学習会(手話など) ⑤ 軽音楽、陶芸教室など課外活動 |

| | |
|------|---|
| | <p>自治活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① リーダー会議 ② メンバー自治会の組織、定例会議 ③ 「何でもやろうかい」の立案・実施 利用者中心での企画、利用者要望により外出行事を入れる ④ 各種行事実行委員会、メンバ一年1回は実行委員会に ⑤ 帰りの会のひとこと <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 宿泊訓練(1泊2日)または自然体験訓練(岩手県) ② 希望者には送迎を実施する ③ 給食は実施しない(仕出し弁当を斡旋する) ④ 利用者アンケートの実施 ⑤ 地域から講師を招き、利用者向けパソコン教室実施 ⑥ 高齢化への対応、各介護保険事業者との連携 ⑦ 障害についての学習会実施 |
| 健康管理 | <ul style="list-style-type: none"> ① 年1回の健康診断を実施する(保健所で実施) ② 手洗い、うがいなどの励行 ③ 諾喰防止の支援 ④ 体重、血圧定期測定の支援 ⑤ 都派遣の歯科専門家の研修講師の招へい |
| 年間計画 | <p>4月 入所式 ゆめグループ全体会</p> <p>5月 メーデー(今年は自由参加)</p> <p>6月 宿泊訓練</p> <p>7月または8月 自然体験訓練</p> <p>8月 プール(江東、墨東特別支援学校)、夏休み</p> <p>9月 きょうされん全国大会</p> <p>10月 ゆめまつり</p> <p>12月 江東区障害者福祉大会 望年会</p> <p>1月 成人式・還暦祝い、餅つき(別日開催も視野に入る) 江東区障害者作品展</p> <p>3月 ゆめグループ総括会議</p> <p>外出訓練を年2回実施する。(通称何でもやろう会)</p> <p>消防・防災訓練年2回実施</p> <p>ゆめグループの地域開放事業実施ゆめまつり</p> |

| | |
|-----|---|
| その他 | <p>利用者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 給料と評価基準の明確化を利用者が理解できる形で進める。目標を持つ人の工賃面での評価 ② 利用者・職員に対するアンケートの実施 ③ 利用者・職員に対する経営状態の公開 ④ 相互の障害の理解のための学習会など実施 ⑤ 就労希望者には情報提供と実践力を培う練習との両面で就労支援を行う。 ⑥ 新規利用者獲得 ⑦ 利用者、職員の雑談力をつける ⑧ 個別支援計画の面談を各支援員で分担し、作成することを試行する。 ⑨ 一週間の見通しを持てるように支援する（週間予定表など） <p>職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 個別支援計画の作成・検討・改善のため、職員、サービス管理者、利用者との話し合いを定期的に行う。 ② サービス等利用計画の立案への協力、対象者を増やす ③ 職員の指導力を高めるための研修を実施する。（自閉症スペクトラム、高次脳機能障害の社会行動障害） ④ 職員との個別面談 ⑤ 作業内容の絞り込みなどにより職員がイベント担当などを効率的に進めることができるように配慮する <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 環境整備を進める。整理整頓。 ② 温度、湿度などの適正管理、障害に合わせた体温調整の工夫 ③ パーティションの活用による集中できる環境つくり。 <p>管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 工賃による訓練費格差については各所に不合理を訴えていく。 ② 高齢障害者中心の事業所か、多様な年齢の事業所か将来の方向を考える。押しつけの地域包括支援ではない専門家ネットワークつくりに向けて方向を考える ③ 職員の仕事マニュアルつくり ④ 作業所の中期計画案つくり ⑤ 就労中、在宅など元利用者などのアフターケア ⑥ サービス提供記録整備、電子記録の活用検討 ⑦ 虐待防止研修など全員で受講 |
|-----|---|

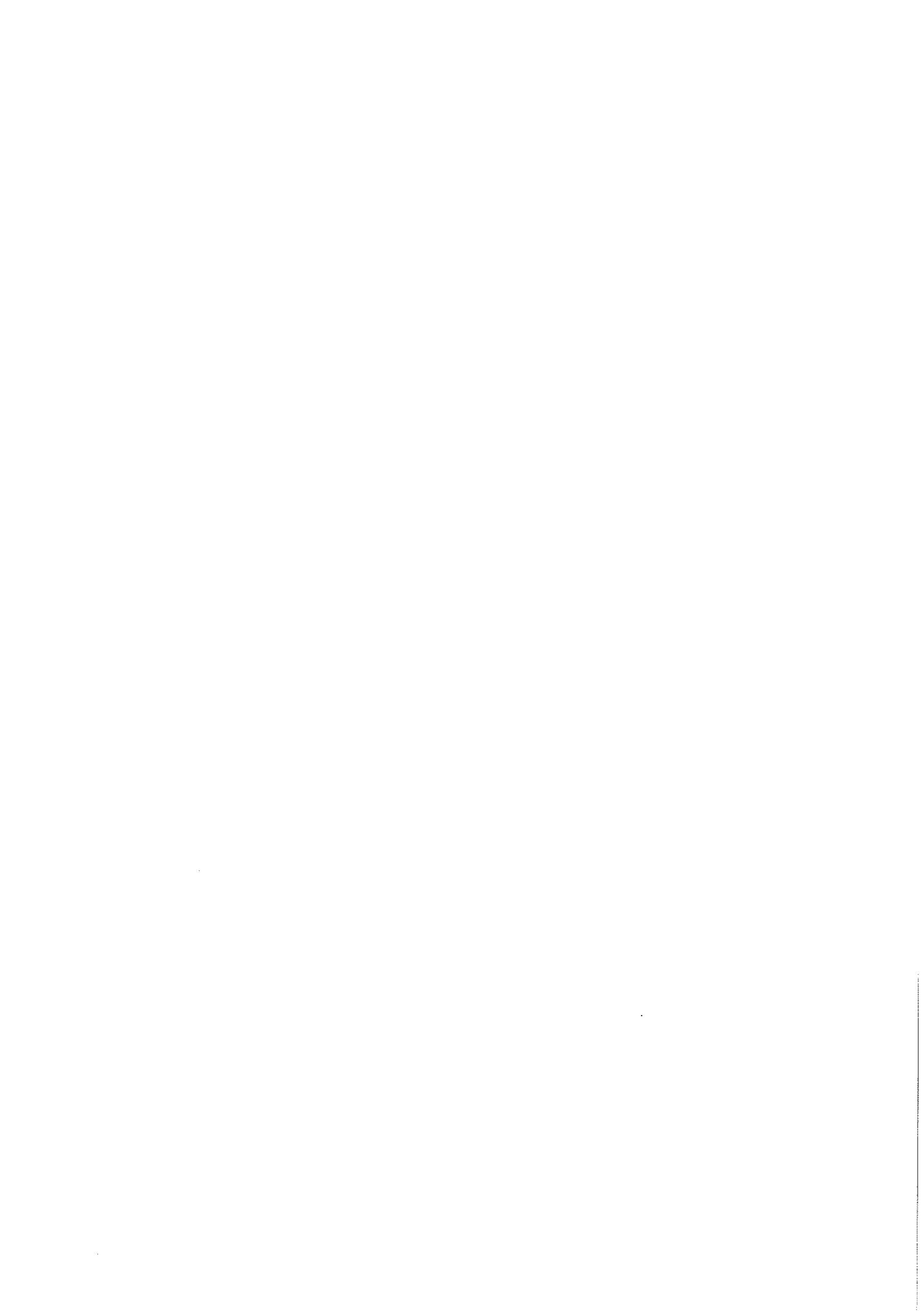
2019度事業計画

ゆめ工房北砂

| | | |
|-------|--|---|
| 事業所名 | ゆめ工房北砂 | |
| 運営法人 | 社会福祉法人 ゆめグループ福祉会 | |
| 事業の種類 | 就労継続支援 B型 | |
| 所在地 | 東京都江東区北砂一丁目14番4 2F | |
| 管理者 | 安部 慎太郎 | |
| 事業の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人たちの生きがい・労働を支え・地域生活を営む力をつけられるよう、適切な支援を行う。 ・文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるよう支援する。 ・集団を基礎とした人間関係を中心に置き、作業を通じて社会で生きていく力の獲得を目指す。 ・他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。 | |
| 事業内容 | 作業（労働） | <p>収入 3,800,000 円を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下請け作業 収入 1,700,000 円 印刷物の封入作業、ダイレクトメール発送作業、ビニール袋の検品作業、 ・菓子製造業 収入 2,000,000 円 手焼きせんべい、石焼き芋、芋けんぴ、揚げせんべい、芋菓子を砂町銀座・西大島を売り歩く。社協「まごころ市」、専門学校・企業等で販売する。また、新商品の開発や販路拡大も目指す。 ・自主製品 収入 100,000 円 エコクラフト（小物入れ、カトラリーケース）、新商品の開発 <p>※毎月、振り返りの会議をする。 収支報告⇒工賃にいくら使うか検討する。また、気づいたことから協議し来月の目標を定める。</p> |
| | 日課 | <ol style="list-style-type: none"> ① 出勤簿に印を押す ② 体操・ストレッチ・スクワット ③ 掃除 ④ 朝の会（今日やることの確認・共有、連絡事項） ⑤ 昼休み（昼食・歯磨き） ⑥ 午後の確認（午前やったことの確認、午後やることの確認） |

| | | |
|---------|-------|---|
| | | <p>⑦ 帰りの会（今日やったことの確認・共有、連絡事項）</p> <p>⑧ 三役会議（各班のリーダー・サブリーダー・会計で出勤簿の確認、業務日誌をつける、明日の予定について）</p> |
| | 文化的活動 | <p>① 創作活動（月1回） 美術作品の制作</p> <p>② 作品展への出展（きょうされんグッズデザインコンクール、かかしコンクール、障害者作品展、など）</p> <p>③ スポーツ系のレクリエーション 体を動かすこと・他者への理解・組織としての連帶を目指す</p> <p>④ 東京都障害者スポーツ大会への参加（希望者）</p> <p>⑤ 手話教室（希望者）</p> <p>⑥ 軽音サークル（希望者）</p> <p>⑦ 学習会（障害者福祉関連・文字の読み書きなど）</p> |
| | 自治活動 | <p>① リーダー会議</p> <p>② メンバー自治会の組織</p> <p>③ 「なんでもやろうかい」の立案・実施</p> <p>④ 各種行事実行委員会</p> |
| | その他 | <p>① 宿泊研修 6月静岡県宇久須温泉（1泊2日）か8月岩手県七時雨（2泊3日）を選択する</p> <p>② 防災訓練（2回）</p> <p>③ 希望者には送迎を実施する</p> <p>④ 給食は実施しない。個人の身体・収入に合ったものを自分で選択することを目指す。買い物支援・仕出し弁当を斡旋する。</p> |
| 健 康 管 理 | | <p>① 年1回の健康診断を実施する 利用者は保健相談所、職員は診療所と契約</p> <p>② 手洗い・うがいの励行</p> <p>③ ダイエットサークル（有志）毎日、体重を量り記録をつけ意識を高める</p> <p>④ 必要に応じて通院同行や食事の補助など</p> |

| | | |
|------|-----|--|
| 年間計画 | 4月 | ・入所式・ゆめグループ全体会（事業計画について） |
| | 5月 | ・メーデー（有志） |
| | 6月 | ・障害者スポーツ大会参加（有志） ・宿泊研修（1泊2日） 静岡県宇久須温泉 6/6（木）～6/7（金） |
| | 7月 | ・江東特別支援学校夏まつり |
| | 8月 | ・宿泊研修 七時雨（2泊3日） |
| | 9月 | ・プール（江東・墨東特別支援学校借用） ・きょうされん全国大会@愛知 2泊3日の予定 |
| | 10月 | ・ゆめまつり |
| | 12月 | ・江東区民まつり ・江東区障害者福祉大会 ・望年会 |
| | 1月 | ・成人還暦祝い・江東区障害者作品展 |
| | 2月 | ・餅つき |
| | 3月 | ・ゆめグループ全体会（総括会議） |
| | | |
| その他 | | ① 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との話し合いを定期的に行う。 ② 職員の指導力を高めるための研修を実施する。また、外部の研修にも積極的に参加を促す。 ③ 利用者・職員に対するアンケートの実施 ④ 利用者・職員に対する経営状態の公開 ⑤ 相互の障害の理解のための語る会など実施 ⑥ 就労希望者には、情報提供や履歴書の書き方、面接に同行するなどの支援を行う。 |



2019年度事業計画

ネットワークゆめ工房

| | |
|-----------------|--|
| 事業所名 | ネットワークゆめ工房 |
| 運営法人 | 社会福祉法人ゆめグループ福祉会 |
| 事業の種類・定員 | 生活介護・10名、就労継続支援B型・10名、(現在籍10:10) |
| 2019年度の在籍 予定 | 生活介護・11名、就労継続支援B型・10名 *定員の変更を検討する(生活介護11名、就労継続支援B型9名) |
| 所在地 | 江東区北砂1-17-4稻見北砂ハイツ1階 |
| 管理者 | 柳 春夫 |
| 事業の目的 | <p>障がいのある人たちが生きがいある生活を送れるよう支援する。</p> <p>特に障がいの重い利用者に視点をあて生活介護事業を重視する。</p> <p>労働の場を提供し、更には地域の人々と交流し共生する場を実現できるよう努力する。</p> <p>他の支援機関と協力し一般就労実現のため支援する。</p> <p>文化活動やスポーツ活動など多様な取り組みを行い、利用者の力を充分發揮できるよう支援する。</p> <p>生活リズムを大切にし、障がいと付き合いながら、健康を維持・増進するための取り組みをすすめる。</p> |
| 事業の内容 | <p>作業(労働)①軽作業 (下請け作業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 紐通し・結び マグネット封入 入浴剤(塩)封入 ゆめニュースの発送など <p>②自主製品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> 陶芸 ポストカード、年賀状制作 ワニブル(プルトップを使ったストラップ) <p>③アルミ缶リサイクル</p> <p>文化活動 ①創作活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵画(多様な画材)、パソコンによる作画、陶芸 *創作教室(月一回。専門講師が指導) <p>②作品展への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> きょうされんコンクール、江東区障害者作品展 <p>③スポーツ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京都障害者スポーツ大会(希望者) <p>④学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者問題、手話など <p>⑤クラブ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 軽音楽クラブ、陶芸教室、パソコン教室 |

| | |
|------|---|
| | <p>自治活動 ①仲間の会（組合）への参加 ②「何でもやろう会」（年3回程度）の企画・実施</p> <p>その他 ①宿泊研修・訓練（1泊2日又は2泊3日） ②希望者への送迎の実施 ③給食は実施しない。（仕出し弁当を斡旋する）</p> |
| 健康管理 | <p>年一回の健康診断を実施。（保健所） 嘱託医による健康相談と指導の実施。 非常勤看護師の勤務時間を必要に応じて増やす 畳エリアを利用しての休養時間を設ける。</p> |
| 年間計画 | <p>4月 春のバスツアー 入所式 ゆめグループ全体会（年間計画）</p> <p>5月 障害者メーデー（有志参加）</p> <p>6月 宿泊研修（西伊豆）</p> <p>7月 地域との夏まつり（江東特別支援学校） 宿泊研修（岩手・2泊）</p> <p>8月 学校開放プール（江東、墨東特別支援学校） 夏休み</p> <p>9月 きょうされん全国大会（代表）</p> <p>10月 区民まつり</p> <p>12月 区福祉大（有志） 望年会</p> <p>1月 成人・還暦の会</p> <p>3月 ゆめグループ全体会（総括）</p> |
| その他 | <p>①個別支援計画の作成・検討・改善に取り組む。利用者・保護者との話し合いを行なう。 サービス等利用計画の作成を支援する。</p> <p>②職員の支援力向上のために研修を行う。 重度の肢体不自由者の介助についてネット独自の研修会を持つ</p> <p>③就労希望者に、情報提供と具体的な求職活動への支援 に取り組む。</p> <p>④老朽化した施設設備の改修・交換をすすめる。</p> <p>⑤近い将来、生活介護に特化した運営に移行するため、具体的な準備を進める。</p> <p>⑥65才を迎えた利用者の介護保険利用の諸問題に対処する。</p> |

2019度事業計画

ふれあい工房

| | | | |
|-------|---|---|--|
| 事業所名 | ふれあい工房 | | |
| 運営法人 | 社会福祉法人 ゆめグループ福祉会 | | |
| 事業の種類 | 就労継続支援B型 | | |
| 所在地 | 東京都江東区千石2-2-5 | | |
| 管理者 | 中村 幸江 | | |
| 事業の目的 | <p>店舗を通して、生産者と地域のお客様との仲立ちや、地域と密着し、お客様と直接かかわる仕事の中で、生きがい・労働を支え・地域生活を営む力をつけられるように支援を行う。</p> <p>文化活動・創作活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をおくれるよう支援する。</p> <p>他の支援機関と協力し、一般就労に向け支援をする。</p> | | |
| 事業内容 | 作業（労働） | ① 産直野菜の仕入れ（岩手、千葉、）・販売 ② 天然酵母パン、菓子の製造・販売・新商品開発 ③ カフェコーナーでのドリンク・ランチ提供 （新商品：冷製パスタ） ④ 外部販売（企業、社協、保険相談所、各イベント）の拡大 ⑤ 体に優しい食品、日用品仕入れ・販売 ⑥ 復興支援活動（仕入販売、イベント開催） ⑦ コミュニティスペースとしての店舗活用 （会議・研修会・ワークショップなど） ⑧ 広報活動（ロゴ入り袋作り、HP、フェイスブック、ブログ、ポスティング） | |
| | 日課 | ① 朝の会で接客基本用語、身だしなみチェック ラジオ体操・グラグラ体操 ② 昼食後の歯磨きを徹底 ③ 毎日の清掃以外に、週一回担当場所を集中して掃除をする | |
| | 文化的活動 | ① 創作活動（月1回） 美術作品の制作 ② 作品展への出展（きょうされんグッズデザインコンクール、障害者作品展、など） ③ 学習会（手話など） | |
| | 自治活動 | ① リーダー会議 ② 自治会（仲間の会）の活動 ③ 各行事実行委員会 | |

| | | |
|---------|--|--|
| | その他 | <p>① 宿泊訓練 ② 岩手県「ゆめのつどい」 ③ 希望者には送迎を実施する ④ 第1第3土曜日を開所 (当該週の水曜日は休みとする)</p> |
| 健 康 管 理 | | <p>年1回の健康診断を実施し、個別に結果を伝え、その後の健康状態に注意しながら把握する。 女性の健康管理を実施する 月1回スポーツ会館等で「運動の日」を実施する。</p> |
| 年 間 計 画 | 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 12月 1月 2月 3月 | <p>入所式 ゆめグループ全体会 メーデー なんでもやろう会 ゆめグループ研修旅行 夏まつり 江東特別支援学校 プール (江東、墨東特別支援学校) 七時雨ゆめのつどい 復興支援イベント なんでもやろう会 避難訓練 (火事) きょうされん全国大会 in 愛知 (代表参加) ゆめまつり 江東区民まつり 江東区障害者福祉大会 望年会 成人・還暦祝い、餅つき 江東区障害者作品展 なんでもやろう会 ゆめグループ総括会議 復興支援イベント (味噌づくり) 避難訓練 (地震)</p> |
| そ の 他 | | <p>① 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者との面談を定期的に行う。 ② 給料と評価基準を明確化し、利用者が理解できる形で進める。 ③ 利用者の希望に沿って班を決め、責任感、作業意欲が向上できるように支援していく。 ④ 利用者・職員に対するアンケートの実施 ⑤ 利用者・職員に対し、経営状態の公開 ⑥ 職員研修へ積極的に参加し、スキルアップをめざしていく。 ⑦ 「何でもやろう会」勉強や親交を深める行事の立案・実施 ⑧ 「みんなに知ってもらおう会」自分の事を理解してもらうための会を実施 ⑨ 運動不足解消を目的とする「運動の日」を実施 (毎月) 朝のラジオ体操に加え、体を揺らすグラグラ体操を取り入れる ⑩ 新商品開発に力を入れる。冷製パスタ+麺ランチ (フォー) ⑪ 現在繋がっている企業への販売頻度を増やす。販路を拡大する。 ⑫ コミュニティスペースを有効利用させる</p> |

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">⑬ 野菜販売用の看板を作る⑭ 広報活動として、ゆめまる君ロゴ入りの袋を作り、産直野菜販売を強調する看板作り⑮ 就労希望者には、求人情報を提供、履歴書の書き方、面接同行等の支援を行う。 |
|--|---|

2019年度事業計画

ドリームクラブハウス

| | |
|-------|---|
| 事業所名 | ドリームクラブハウス |
| 運営法人 | 社会福祉法人 ゆめグループ福祉会 |
| 事業の種類 | 就労継続支援B型 |
| 所在地 | 東京都江東区北砂1-15-8 |
| 管理者 | 藤森 幹朗 |
| 事業の目的 | <p>障害のある人たちの生きがい・労働を支え、地域生活を営む力を つけられるように、適切な支援を行う。</p> <p>他の支援機関と協力し、一般就労にむけて支援する。</p> <p>文化活動・スポーツ活動に取り組み、健康で文化的な生活をお くれるように支援する。</p> <p>生活のリズムを大切にしながら、病気とつきあい地域生活を 送る事ができるよう支援する。</p> |
| 事業の内容 | <p>作業(労働)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自主製品製造販売 (特に革製品、編組コースター) ② ネジの箱詰、梱包出荷作業。 ③ 常設販売場所の開拓。 <p>販売活動を積極的に進める。特に通常の開所時間 (月～金9:00～16:00)に販売できる場 所の開拓と既存の販売会へ積極的に参加する。</p> <p>販売、接客に必要なマナー、挨拶、身だしなみ などを社会生活に必要なスキルとして学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 記念品、ノベルティー商品の開発および 宣伝、営業活動。 <p>文化的活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ①創作活動(月1回) 美術作品の制作 ②作品展への出展(きょうされん作品展・江東区 作品展・かかしコンクール)、ギャラリー展示 ③毎週末の外出、レクリエーションの実施。 <p>自治活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ①メンバー自治会の組織 ②「何でもやろうかい」の立案・実施 ③月曜日の利用者主体のミーティング。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ①宿泊訓練(1泊2日) ②希望者には送迎を実施する ③給食は実施しない(仕出し弁当を斡旋する) ④利用者アンケートを実施する |

| | |
|------|---|
| | <p>⑤ 自立支援協議会精神部会に積極的に参加。</p> <p>⑥ 就労を目標にする利用者が増えてきたので積極的に相談機関を案内し、サポートを強化する。</p> |
| 健康管理 | <p>年1回の健康診断を実施する（保健所で実施）</p> <p>体重増加や生活習慣病への注意喚起、通院、栄養相談などに必要があれば同行。</p> |
| 年間計画 | <p>4月 入所式 ゆめグループ全体会</p> <p>5月 なんでもやろう会</p> <p>6月 宿泊研修旅行</p> <p>8月 プール（江東、墨東特別支援学校） ゆめのつどい 岩手県宿泊研修</p> <p>9月 なんでもやろう会</p> <p>10月 ゆめまつり 江東区民まつり</p> <p>12月 江東区障害者福祉大会 望年会</p> <p>1月 成人・還暦祝い、餅つき 江東区障害者作品展</p> <p>2月 東京会議東部ブロック自主製品販売会</p> <p>3月 ゆめグループ全体会</p> |
| その他 | <p>① 個別支援計画の作成・検討・改善のため、利用者・保護者との話し合いを定期的に行う。</p> <p>② 計画相談の定着を機に、保健師、福祉事務所ケースワーカー、居宅サービス事業者などと関係者間のネットワークの再構築を促していく。</p> <p>③ 精神的身体的に調子を崩した時にも必要があれば電話対応などで的確な支援をする。必要がある時は関係機関と連携しながら訪問など行なう。</p> <p>④ 職員の指導力を高めるための研修を実施する</p> <p>⑤ 職員ミーティングを定期的に実施する。</p> <p>⑥ 利用者が地域で積極的に社会参加出来るような資源を探すなどニーズに見合った協力や支援をする。</p> <p>⑦ 生活のリズムを大切にして無理しないで病気と付き合っていくことを支援する。</p> <p>⑧ 年々、利用者数、利用率が減少している現状を問題として捉え、職員、利用者協力して、誰もが通いやすい事業所に変えて、利用者を増やしていく。</p> |

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・高齢化している利用者が利用しやすい環境を作っていく。・無認可の作業所時代から、そのまま慣例化していた、所内での行事、習慣、日課などを見直し、良い面は残しつつ、悪弊などが残っている場合は、撤廃する。 <p>⑨ 2018年度は、8月に60代後半の女性、12月に60代前半の男性、2月に70代の男性が相次いで亡くなられた。いずれも単身でアパート生活をされていた方だった。保健師、福祉事務所に加えて訪問系サービス、地域包括支援センターなどとのネットワークづくりを強化していく。</p> |
|--|--|

2019年度事業計画
本館ドリーム第2 分室リサイクル工房サラエ
2019年4月1日～2020年3月31日

| | |
|---------------------|--|
| 事業所名 | 本館 ドリーム第2 定員20名、登録28名 身：6名 知：17名 精2名 身知：1名 知精：2名 【男性17名、女性10名】 分室 リサイクル工房サラエ 定員15名 登録13名 身：5名 愛：4名 精：2名 身知：1名 身精：1名 【男性9名、女性4名】 |
| 運営法人 | 社会福祉法人 ゆめグループ福祉会 |
| 事業の種類 | 就労継続支援B型 |
| 所在地 | 本館ドリーム第2 東京都江東区東砂6-20-7 1F 分室リサイクル工房サラエ 東京都江東区東砂5-16-3-101 |
| 管理者 | 田中 直樹(12年目) |
| サービス管理責任者 | 田中 直樹 |
| ドリーム第2 職員配置 | 主任 才野 結子(5年目) 青山 永俊(1年目)ゆめ通算5年目 中川 朱乃(10ヶ月) 板村 亜由美(9ヶ月) 欠員1名(パート1名) るーくる勤務 城間 みどり(10年目) |
| リサイクル工房 サラエ 職員配置 | 主任 仲前 幸枝(5年目) 池田 岳志(2年目) 仲村 末子(12年目) 境野 修次(30年以上) |
| 事業の目的 | 基本方針 1. ひとりひとりの力とやる気に合わせた作業を提供する。 2. 利用者相互のコミュニケーションを大事にして、一緒に成長していくか れるようとする。 3. 自分で考え、社会で生きていく力を伸ばし活き活きとした毎日が過ご せるようとする。 4. 障害状況にあわせた支援を行い、健康に毎日過ごせるようにする。 5. 他の支援機関と協力し一般就労に向けて支援する。 |

| | |
|--|---|
| | <p style="text-align: center;">支援方針</p> <p>1. ひとりひとりの力とやる気に合わせた作業を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 見通しや責任感を育てる役割、グループの設定。 (2) 生産目標、財政目標を立て定期的にわかりやすく作業をふりかえり、今後の見通しをもつ。 (3) 安定した作業と、難易度の高い工程への組み合わせで意欲を育てる。 (4) 給料増額にむけて地域や企業に利用者さん自身が考え、販路を広めていく。 <p>2. 利用者相互のコミュニケーションを大事にして、一緒に成長していくようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) リーダー会の一層の充実をはかる。 (2) おたがいのがんばりや成長を利用者同士が気付き合い評価し合える場面を作っていく。 (3) お互いの障がいになる部分を理解し支え合う場面を作っていく。 <p>3. 自分で考え、社会で生きていく力を伸ばし活き活きとした毎日が過ごせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 作業の様子、作業以外での様子を職員が共有、力を發揮できる場面を意識的に作る。 (2) 問題の直面化などを意識的に行い利用者の相互作用により解決していく場面を作る。 (3) 身体、知的、精神、自分の苦手な事を理解し、意識的に考え方行動できるように支援していく。 <p>4. 障害状況にあわせた支援を行い、健康に毎日過ごせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 現在の健康状況を職員が把握し、家庭、P.T.、保健師、医療機関との連携を図り必要な援助を行っていく。 (2) 家庭訪問、個人面談、日常の情報収集などで通所者や家庭の状況を把握し必要な援助を行っていく。 (3) モニタリングや、職員間の情報共有に力を入れる。 <p>5. 他の支援機関と協力し一般就労に向けて支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 就労のための情報を利用者に周知する。 (2) トライアル雇用などの制度を積極的に利用する。 |
|--|---|

| | |
|------|---|
| | 作業(労働) |
| | <p>①喫茶班（10名）</p> <p>（1）喫茶『たむろす』営業</p> <p>喫茶店での接客、調理。新商品考案や地域への周知を強め、就業意欲、工賃アップに繋げる。接客、調理技術のさらなる向上を目指す。併せて店舗内貸切も行っていく。</p> <p><u>☆29、30年度と店舗の活動、来客数が低迷している。接客方法、メニュー、お客さんに快適に過ごしてもらえる方法を利用者と共に考え実行していく。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幟の設置 ・ネットワークゆめ工房と協同して喫茶のコーヒーカップ、茶碗、皿等を喫茶店に合った物に一新する。 ・コーヒーの仕入先を【縁の木】さんに変更（オーナーのお子さんが自閉症） <p><u>☆そして地域の方々にもっと来てもらえるよう、宣伝にも力を入れ、店舗での売り上げアップを目指す。</u></p> <p>（2）外販</p> <p>様々な企業と提携し、企業内の販売をしていく。対面式の販売を行い。接客技術の向上を目指す。</p> <p>②厨房班（13名）</p> <p>（1）江東区役所2階『るーくる』で販売する惣菜パン、おにぎり、サンドイッチ、焼きそばの製造。新商品の開発。利用者が主になり商品製造を行えるようにしていく。るーくるでの商品販売により、口コミで外部からの大量注文にも随時対応していくようにしていく。</p> <p>（2）外販</p> <p>様々な企業と提携し、企業内の販売をしていく。対面式の販売を行い。普段やらない接客の技術向上を目指す。</p> <p>（3）地域夕食</p> <p>地域への食事配達サービス。利用者主体で毎月の献立を考える。調理過程でも利用者が主となり作業を進めていく。現在、GH3ヶ所、利用者さん1名。</p> <p><u>☆29年度「家庭料理技能検定」5級を受験し料理の基礎知識を学んだ。その知識を活かした献立作りや調理の質の向上を目指す。</u></p> |
| 事業内容 | |

| | |
|--|---|
| | <p><u>☆30年度、「家庭料理技能検定」を受験予定でしたが、人員体制の不足があり対応が出来なかった。31年度は『家庭技能検定』試験に再挑戦。5級に合格した方は4級を、合格できなかつた方は5級を再チャレンジしさらなる向上を目指す。</u></p> <p>③裏方班（5名）</p> <p>る一くる商品の原材料表示のシール作成、貼り。事業全体の会計担当。事業所間の書類の運搬。</p> <p>28年度より、事務作業だけではなくお菓子作りに力を入れ始め、『プラウニーケーキ』は人気商品となる。</p> <p><u>☆31年度は、『UVレジン』を使ったアクセサリー作成にチャレンジしていく。</u></p> <p style="text-align: center;">分室 リサイクル工房サラエ 作業(労働)</p> <p>ショップ班と裏方班の2班で5つの事業を行なっていく。</p> <p>事業内容</p> <p>①リサイクルショップサラエ事業</p> <p>リサイクルショップサラエを営業。地域の方から提供していただいたリサイクル品を動作確認、清掃、価格設定等を行い接客(レジ打ち、接客)を通して地域の方々と係わり、繋がりを持ちながら社会性、人間性を身に付けていく事を目的とする。</p> <p>②バスソルト事業</p> <p>株式会社スパイスマインドからの下請作業。</p> <p>カンデオズホテル、コンラッド東京、呉竹ホテル、法華クラブの4箇所の大手高級ホテルのアメニティグッズのバスソルトの作成、梱包、出荷を行なう。岩塩に香りを付け、シーラーで封をして出荷する。</p> <p><u>単価 1個2.5円</u></p> <p>③イーチャリティー事業</p> <p>株式会社フロムケアが手掛けるe-CHAR1tyプロジェクトの一つで電動自転車のリサイクル事業の一部の作業を委託される。</p> <p>自転車のタイヤ交換、リムの交換</p> |
|--|---|

| | |
|--|--|
| | <p><u>単価 1個200円</u>⇒作業時間1個10～15分 電動自転車の充電器の清掃</p> <p><u>単価 1個50円</u>⇒作業時間1個15～20分 電動自転車のバッテリーの清掃</p> <p><u>単価 1個50円</u>⇒作業時間1個20～25分 ブレーキカット</p> <p><u>単価 1本10円</u>⇒作業時間10本10分 スポークはずし</p> <p><u>単価 1個200円</u>⇒作業時間1個15分 チャイルドシートの張替え交換</p> <p><u>単価 1個100円</u>⇒作業時間1個10分</p> <p>④自主製品 平成30年度は下請け中心の作業内容でした。平成31年度は新しい自主製品の作成にも力を入れていきたいと思っています。</p> <p>⑤印刷業 事業所移転の関係で請け負う仕事の量は全盛期の3分の2程度に減らしてきているが、平成31年度も継続して印刷業を行なっていく。年度途中で移転計画が進む場合は、仕事量をより縮小していくようとする。</p> <p style="text-align: center;">文化的活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ①創作活動(月1回) 美術作品の制作 ②作品展への出展(きょうされん作品展・江東区作品展) ③学習会(手話など) <p style="text-align: center;">自治活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ①仲間の自治会組織 ②「何でもやろうかい」(年4回)の立案・実施 ③月末に誕生会を実施(本館) ④暑気払い、年末のお疲れ様会の実施 <p style="text-align: center;">その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ①宿泊訓練(1泊2日) ②希望者には送迎を実施する。(無料) |
|--|--|

| | |
|------|---|
| 健康管理 | 年1回の健康診断を実施する。(保健所で実施) 通院付添いを必要に応じて行う。 |
| 年間計画 | 4月 入所式 ゆめグループ全体会 5月 メーデー きょうされん東京大会 メトロック参加 6月 宿泊訓練(選択式) こぴあ祭り参加 7月 プール (江東、墨東特別支援学校) 8月 第3回ゆめのつどい (選択式) ドリサラ暑気払い 9月 きょうされん全国大会(愛知県) 10月 ゆめまつり、江東区民まつり 12月 江東区障害者福祉大会 ゆめグループ望年会 ドリサラお疲れ様会 1月 成人・還暦祝い、餅つき 江東区障害者作品展 3月 ゆめグループ総括会議 |
| その他 | ① 31年度個別支援計画案を本人と面接の上原案を策定し、30年4月に利用者本人の同席のもと説明し、調整し同意を得て30年度個別支援計画を策定。6か月後にモニタリング見直しを行う。 ② 職員の支援力、障害福祉の基礎知識から高めるため様々な勉強会や江障連への参加を勧めていく。 ③ コミュニケーション力の向上のため対面販売を行う作業所への実習なども積極的に行う。 ④ 就労希望者には情報提供と実践力を培う練習との両面で就労支援を行う。 ⑤ 分室リサイクル工房サラエの移転を <u>重点課題</u> として取り組む。 ⑥ 職員のメンタルケアを丁寧に行っていく。 ⑦ ☆現在、通所できない方の通所へ繋がる支援も進めていく☆ |

作成者：田中直樹

2019度事業計画

| | |
|-------|--|
| 事業所名 | 生活寮ひだまり |
| 運営法人 | 社会福祉法人 ゆめグループ福祉会 |
| 事業の種類 | 江東区心身障害者生活寮運営費助成事業 |
| 所在地 | 江東区東砂8-19-7 |
| 管理者 | 中村 幸江 |
| 事業の目的 | <p>基本方針 障がいのある人々が、地域で自立した生活を送ることができるための生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進するとともに、可能な限り個々のニーズに対応した包括的な援助を提供する。</p> <p>運営方針</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 入居者の自主性を尊重し、個人の尊厳、プライバシーを守る。 (2) 入居者が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう入居者の身体及び精神の状況並びにその環境に応じて、日常生活上の援助を適切かつ効果的に行う。 (3) 地域社会との交流を深め、関連する障害者団体との連携をはかる。 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 健康管理の援助 <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の健康状態の把握に努め、日常的な健康管理に配慮する。 ・必要がある場合は、医療機関への通院を支援する。 ・感染予防のため、手拭き用ペーパータオルを用意する。 風呂マット、手拭きタオルを個別に分ける。 ・週1回、居室、共同スペースを全員で清掃する。 寝具等の大物洗濯、乾燥を支援する。 (2) 健康に配慮した食事の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の身体の状況・希望や嗜好、栄養を考慮した食事を提供する。 (平日：朝食(賄い)、夕食(ドリーム第2の配食) 土日祝日：夕食(弁当) (3) 入浴、排せつ又は食事等の介助 <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の必要に応じて、入浴、排せつ又は食事等の介助を行う。 (4) 日中活動援助 <ul style="list-style-type: none"> ・職場や、通所施設等のサービスを利用する場合に、必要に応じて職場やサービス提供事業者等と連絡・調整を行い、入居者の活動を支援する。 (5) 余暇活動等の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・休日や余暇時間には入居者のニーズに沿った外出支援、趣味活 |

動等支援する。

(6) 相談・助言

- ・自立生活に向けたスキルの習得や、個別の要望に対応し、相談の場を設け助言する。

(7) 金銭管理の援助

- ・自立生活に向けて金銭管理が自分でできるように支援する。

(8) 家族との交流

- ・入居者と家族間の連絡調整を行う。

(9) 行事

- ・年間計画を立て、誕生会、季節の行事、旅行、食事会等を企画する。

- ・町内行事（東砂八丁目町会日帰りバス旅行）等にも積極的に参加する。

(10) 緊急時の対応

- ・入居者の緊急時においては、協力医療機関、利用者の主治医、その他の必要な医療機関等への連絡や必要な措置をとる。

- ・入居者に事故等が発生した場合には、直ちに利用者家族、関係の障害福祉サービス事業者等に連絡するとともに、必要な措置をとる。

(11) 防災訓練の実施

- ・年2回防災・避難訓練を実施する。

- ・町内で行われる防災訓練に参加する。

(12) その他

- ・寮生活が円滑に進むよう毎月、寮会議を行う。

2019度事業計画

生活寮ひだまり第2

| | |
|-------|--|
| 事業所名 | 生活寮ひだまり第2 |
| 運営法人 | 社会福祉法人 ゆめグループ福祉会 |
| 事業の種類 | 江東区心身障害者生活寮運営費助成事業 |
| 所在地 | 江東区大島3-25-5 |
| 管理者 | 柳 春夫 |
| 定員 | 5名(現員5名) |
| 事業の目的 | <p>基本方針 障がいのある人々が、地域で自立した生活を送ることができるための生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進するとともに、可能な限り個々のニーズに対応した包括的な援助を提供する。</p> <p>運営方針 (1) 利用者の意思及び人格を尊重し、プライバシーを守る。 (2) 利用者が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう利用者の身体及び精神の状況並びにその環境に応じて、生活寮において、日常生活上の援助を適切かつ効果的に行う。 (3) 地域社会との交流につとめ、関連する障害者団体との連携をはかる。</p> |
| 事業内容 | <p>(1) 健康管理の援助 ・利用者の健康状態の把握に努め、日常的な健康管理に配慮する。 ・必要がある場合は、医療機関への通院を支援する。</p> <p>(2) 利用者の健康に配慮した食事の提供 ・栄養・利用者の身体状況・希望や嗜好を考慮した食事の提供をする。</p> <p>(3) 入浴、排せつ又は食事等の介護 ・利用者の必要に応じて、入浴、排せつ又は食事等の介護を行う。</p> <p>(4) 日中活動援助 ・日中、職場へ通勤する場合や、通所の施設、デイサービス等のサービスを利用する場合に、必要に応じて職場やサービス提供事業者等と連絡・調整を行い、利用者の活動を支援する。</p> <p>(5) 余暇活動等の支援 ・休日や余暇時間には利用者のニーズに沿った外出支援、趣味活動等支援する。</p> <p>(6) 相談・助言 ・自立生活に向けたスキルの習得や、個別の要望に対応して、相談の場を設け助言する。</p> |

- | | |
|--|--|
| | <p>(7) 金銭管理の援助</p> <ul style="list-style-type: none">・自立生活に向けて金銭管理が自分でできるように支援する。 <p>(8) 家族との交流</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者と家族間の連絡調整を行う。 <p>(9) 行事</p> <p>花見、誕生会</p> <p>(10) 緊急時の対応</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者の緊急時においては、協力医療機関、利用者の主治医、その他の必要な医療機関等への連絡や必要な措置をとるとともに、管理者に報告する。・利用者に事故等が発生した場合には、直ちに利用者にかかる障害福祉サービス事業者等に連絡するとともに、必要な措置をとる。 <p>(11) 防災訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none">・年2回防災・避難訓練を実施する。 <p>(12) その他</p> <ul style="list-style-type: none">・65才を迎えるため介護保険サービスの利用を求められる利用者の不利益を最小限度におさえるため区との話し合い、法人内での検討を進める。 　介護保険サービスと障害福祉サービスの併用を円滑に進めるため地域交流支援センターの「共生型訪問介護」事業の申請を検討する。 |
|--|--|

2019年度事業計画

| | | | | |
|----------|--|-------------|--------------|-------------------|
| 事業所名 | ひだまり第3(ユニットひだまり第3、ひだまり第4) | | | |
| 運営法人 | 社会福祉法人ゆめグループ福祉会 | | | |
| 事業の種類・定員 | <p>共同生活援助 定員:10名 登録:10名(平成31年4月1日現在) ひだまり第3:男性5名 50代:3名 60代2名 平均年齢56.4歳 身1名 知3名 身知1名 援護主体:江東区4名、相模原市1名</p> <p>ひだまり第4:男性5名 20代:1名 30代:2名 40代:2名 平均年齢35.8歳 知4名 身知1名 援護主体:江東区3名、墨田区1名、横浜市南区1名</p> | | | |
| 所在地 | ひだまり第3 | 江東区大島3-25-5 | ひだまり第4 | 江東区東砂3-7-11 2, 3F |
| 管理者 | 田中直樹 | サービス管理責任者 | 藤森 幹朗 | |
| 職員体制 | ひだまり第3 | 藤川 洋(常勤) | 澤村 容子(パート) | |
| | ひだまり第4 | 小山 素子(再雇用) | 植田奈津子(常勤、兼務) | |
| 事業の目的 | 障がいのある人たちが、地域で自立した生活ができるよう生活の場のと支援の体制を確保する。自立した生活と社会参加を実現できるよう、個々のニーズに応じた支援を提供する。 | | | |
| 運営方針 | <ul style="list-style-type: none"> ①入居者の意志および人格を尊重し、プライバシーを守る ②入居者相互の共同協力を重視し、楽しく規律ある生活を送れるよう配慮し支援する ③心身の健康管理に留意する ④必要な介助体制を確保するために、外部サービスも利用する(必要な手続きを進める) | | | |
| 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ①入居者の健康に配慮した食事を提供する ・パート職員による食事提供のほか、必要に応じ配達食を利用 ②健康管理に配慮する ・日中活動利用事業所での健康診断を受診する ・通院を支援する。必要に応じて外部サービスを利用する ③入浴、排せつ、摂食、部屋の整理、洗濯等を支援する ④余暇活動の支援 ・休日の外出支援、宿泊旅行支援。外部サービスも利用。 ⑤金銭管理の援助 ・買い物等の具体的な支援も行う ⑥日常生活の問題や将来のことなど相談・助言する ⑦家族と交流 | | | |
| 緊急時の対応 | <ul style="list-style-type: none"> ①家族・後見人等との連絡を密に行う ②主治医や医療機関との連絡提携を迅速に行なう ③はじめ担当機関に迅速に報告する | | | |
| 防災訓練 | 年2回防災・避難訓練を実施する | | | |

その他

ひだまり第3、第4 共通

- ①寮会議(入居者・職員)を月一回行ない課題等を協議解決する
支援計画を作成する。サービス等利用計画作成に協力する
- ②報酬改定にともない収入が大きく下がる。

安定した運営ができるように外部サービス利用型から包括型への
移行を視野に入れていく。

- ③江東区支援課にも入居希望者の情報を提供してもらう

ひだまり第3

ひだまり第4

- ①平成30年度実施できなかった海外旅行に行く。
- ②職員のスキルアップの為、積極的に研修会に参加していく。
- ③土日勤務の職員体制を検討する

2019年度事業計画

丸山ハイツ

| | |
|-------|--|
| 事業所名 | 丸山ハイツ |
| 運営法人 | 社会福祉法人 ゆめグループ福祉会 |
| 事業の種類 | 共同生活援助 |
| 所在地 | 1) 丸山ハイツ：東京都江東区亀戸4-21-6 2) 東砂ハウス：東京都江東区東砂6-20-7 |
| 管理者 | 岡田 芳久 |
| 事業の目的 | 精神障害者の地域生活における生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進することを目的とする。 |
| 事業の内容 | <p>生活訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 生活のリズムの調整。 ② 洗顔、歯磨き、入浴、着替え、洗濯の指導。 ③ 炊事や栄養面での助言。 ④ 服薬の声掛け、薬の飲み方の助言。 ⑤ 各居室のそうじ、整理整頓の指導。 ⑥ ゴミ出しやトイレ、浴室のそうじなど、当番の声掛け。 ⑦ 金銭管理の指導。 ⑧ 共有スペースなどの利用ルールの順守 <p>日中活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 日中活動として利用している関係機関との連携。 ② まだ日中活動の場を持たないひとには、通所施設の紹介、見学同行。 <p>相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 計画相談支援利用の手続き支援や、セルフプラン ② 状態悪化時や、不安時の相談。 ③ GHでの人間関係の調整や、家族関係の調整。 ④ 利用者が抱えるさまざまな思いへの寄り添い。 ⑤ 夜間などの電話相談。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 夕食の提供。（月から金） ② 必要に応じて、通院の介助。 ③ 障害年金など、様々な手続きの助言、および関係機関への同行。 |

| | |
|------|---|
| 健康管理 | 年1回の健康診断を実施する（保健所で実施） 顧問医との面談を定期的に実施する。 |
| 年間行事 | 4月 入所式（ゆめグループ） 5月 食事会（丸山ハイツ） 8月 江東花火大会（東砂ハウス） 暑気払い（丸山ハイツ・東砂ハウス） 9月 宿泊訓練（ゆめグループ） 10月 食事会（丸山ハイツ） 12月 クリスマス会（丸山ハイツ・東砂ハウス） 望年会（ゆめグループ） 1月 新年会（丸山ハイツ・東砂ハウス） 3月 花見（グループホーム合同） |
| その他 | ① 個別支援計画の作成のため、利用者や保護者、関係機関との話し合いを定期的に行なう。 ② 職員の指導力を高めるための研修を実施。発達障害に関する研修など ③ 寄費（食費、日用品費、光熱費）の内訳、および返金の内訳を利用者が理解出来る形で明確化。 ④ 毎月寮会議を実施し、利用者同士の交流や行事の企画などを行なう。 ⑤ 防災訓練を実施。 ⑥ 新任職員の研修に力を入れる。 |
| 課題 | ① 各部屋の空き期間をできるだけへらす ② 発達障害、知的障害との重複障害の対応 ③ 日中活動の利用が本人の目標通り進んでいない。 |

2019度事業計画

| | |
|-------|--|
| 事業所名 | いぶき寮 |
| 運営法人 | 社会福祉法人 ゆめグループ福祉会 |
| 事業の種類 | 共同生活援助（介護サービス包括型） |
| 所在地 | 東京都江東区枝川1-8-15-714、904 |
| 管理者 | 安部 慎太郎 |
| 事業の目的 | <p>基本方針 知的障害を持つ人々が、地域で自立した生活を送ることができるための生活の場を確保し、その自立と社会参加を促進するとともに、可能な限り個々のニーズに対応した包括的な援助を提供する。</p> <p>運営方針</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 利用者の意思及び人格を尊重し、プライバシーを守る。 (2) 利用者が、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその環境に応じて、共同生活住居において、日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。 (3) 地域社会との交流につとめ、関連する障害者団体との連携をはかる。 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 健康管理の援助 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康状態の把握に努め、日常的な健康管理に配慮する。 ・必要がある場合は、医療機関への通院の支援を行う。 (2) 利用者の健康に配慮した食事の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の身体の状況・希望や嗜好を考慮した食事の提供を行う。 (3) 入浴、排せつ又は食事等の介護 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の必要に応じて、入浴、排せつ又は食事等の介護を行う。 (4) 日中活動援助 <ul style="list-style-type: none"> ・日中、職場へ通勤する場合や、通所の施設、デイサービス等のサービスを利用する場合に、必要に応じて職場やサービス提供事業者等と連絡・調整を行い、利用者の活動を支援する。 (5) 余暇活動等の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・休日や余暇時間には利用者のニーズに沿った外出支援、趣味活動支援を行う。 (6) 相談・助言 <ul style="list-style-type: none"> ・自立生活に向けたスキルの習得や、個別の要望に対応して、相談の場を設け助言を行う。 (7) 金銭管理の援助 <ul style="list-style-type: none"> ・自立生活に向けて金銭管理が自分でできるように支援する。 |

(8) 家族との交流

- ・利用者と家族間の連絡調整を行う。

(9) 行事

- ・利用者のニーズに応じて、外食、旅行、視察・見学会等の行事を実施する。

(10) 緊急時の対応

- ・利用者の緊急時においては、協力医療機関、利用者の主治医、その他必要な医療機関等への連絡を行う等の、必要な措置をとる。

- ・利用者に事故等が発生した場合には、直ちに利用者にかかる障害福祉サービス事業者等に連絡するとともに、必要な措置をとる。

(11) 防災訓練の実施

- ・年2回防災・避難訓練を実施する。